能登香の里
あわい村
No. 110
発行
令和５年　７月　３日
粟井地区自治振興協議会
事務所：福祉センター
７６－０３３４
AWAIMURA.COM

美作市自治振興協議会

【六月　八日】

美作市自治振興協議会理事委嘱式、役員選出後、令和五年度事業計画、補助金、情報交換等の協議をしました。事業としては各地域の課題を出し合い、参考になりそうな所に視察研修に行くこととしました。補助金は、「ふるさと祭り」「花いっぱい運動」に関する事以外に、今年度から各地域一〇万円以内で、使用できる補助金が追加されました。各地区への補助金は今まで通りです。情報交換では、福祉部から覚醒剤の低年齢化が進んでいることから、その防止対策について。環境部からは、川ゴミ、プラゴミ等についてや、落書き・ポイ捨てパトロールについて。東粟倉地域からは、「閉校活用プロジェクト」や旧幼稚園活用について。大原からは、スーパーが閉店したことによる影響と今後について。勝田からは、公民館、集会施設のあり方について。美作からは、「美作ふるさと市」、「敬老会」について。作東からは、大還橋と公民館、不登校特例校について。英田からは、自主防災会の活動と、保育園・幼稚園の跡地利用について。等が報告され情報交換しました。

粟井地区自治振興・区長会

【六月十七日】

粟井地区自治振興協議会役員会
日時　七月二十七日（木）19時
場所　粟井小学校集会所
内容　①粟井小学校集会所受託について
②規約改正について
③粟井地区環境整備作業について
④その他「花いっぱい運動」等
＊体育館の修理等についても協議しました。

粟井地区村創りの会

第38回　田植え祭り

【六月　四日】

春日神社より粟井宮司をお迎えして、例年通り「田植え祭り」が開催され、無事終了した。これで秋には豊作が期待できる。今年から若返った新メンバーでの初イベントでした。神事による田植え祭りは大変珍しく、粟井地区の誇る伝承行事の一つである。その行事が若いメンバーに引き継がれたことの意義は計り知れない。粟井地区の希望でもある。「言うは易し、行うは難し」何かにつけて継続は力です。

市の広報誌の表紙にもなりました。

美作市農業再生協議会・総会

【六月　五日】

総会では令和四年度事業報告、決算報告、令和五年度事業計画、予算案が承認された。水稲の令和五年基準単収は、10アール当たり５０３ｋｇである。水稲作付け率は52％（見込み）。令和五年度　生産調整に係る作付け面積は、県目標面積に対する水稲作付91％（見込み）である。**「令和五年産・経営所得安定対策について」**の（３）交付対象水田の要件について（５年水張りルール）で、湛水管理を１ヶ月以上行う場合の確認など詳細は未定だそうです。＊詳しくは農業政策課。

粟井地区村創りの会

■小房水田の畦畔の草刈り

【六月十五日】

農水部員で畦畔の草刈りを行いました。新しく部員も増えて短時間で刈ることが出来ました。この水田40アールで「もち大豆」を栽培します。この冬注文を取り、「味噌づくり」へと繋げていきます。

■大豆播種＆除草剤散布

【六月十九日】

草刈りをした水田60アールの内、40アールに「もち大豆」の播種を行いました。播種の後、除草剤を散布しました。この作業でかなり草が押さえられます。しかし、今後も大豆の中の除草作業は必要です。

作東地域自治振興協議会

【六月三十日】

役員会では、「不登校特例」に関する六月二十七日の文教厚生委員会の決定を受けて、今までの経緯が報告され、意見を交わした。詳しくは、後日、「作東まちづくり構想委員会」で協議することとした。つぎに、**「ふるさと祭り」**の概要が提示され、協議した。

期日　十月二十二日（日）
場所　バレンタインプラザ南駐車場
＊第一回実行委員会　七月二十八日（金）

［編集後記］　粟井小学校集会所の管理受託について、慎重な協議が続いている。様々な施設設備に係る経費の支出が大きな課題である。又、それらを活用していくためのマンパワーも不足しがちである。何よりも課題なのが役員の選出である。仕事を分担し、一人ひとりに係る負担を減らしていくことが急務である。協力体制構築も一助となろう。